

当院での下咽頭癌に対する、遊離空腸移植症例の研究について

研究責任者： 所属 山口県立総合医療センター 職名 形成外科医
氏名 宮内 律子

このたび、臨床研究倫理審査委員会の審査を受けて院長の許可のもとで下咽頭癌の切除後、遊離空腸移植術を行った症例に対して患者さんの既往疾患、手術方法、術後合併症の有無、合併症に対して行った処置などについて調査・検討を行います。

研究の対象者に該当する可能性のある方で、研究への情報提供を希望されない場合は、下記の連絡先にお問い合わせください。また、本研究に関する質問等がある場合も下記の連絡先にお問い合わせください。

研究の名称	当院での下咽頭癌に対する、遊離空腸移植症例の検討
研究責任者	山口県立総合医療センター 形成外科 宮内 律子
研究期間	研究許可日～2023年6月16日
研究の目的	下咽頭癌に対する遊離空腸移植は標準的な再建法となっているが、遊離空腸管は虚血に弱く、放射線治療の既往、頸部郭清による死腔、頸部皮膚の血流不良の影響により合併症の頻度が高い。咽喉頭頸部食道全摘術（以下、咽喉食摘術）に対して遊離空腸移植を施行した症例の有効性及び安全性について検討することを目的とする。
研究の方法	2015年1月から2021年12月までの間に当院耳鼻科、形成外科で下咽頭癌の切除、遊離空腸移植術を受けられた方を対象に診療録より情報を収集する。 研究に用いる情報は、年齢、性別、疾患名、治療歴、手術後合併症、合併症後に行った処置、治療期間、手術記録等とする。
公表	第47回日本頭頸部癌学会にて報告予定
研究の資金源	企業からの資金提供はない
利益相反	なし
問い合わせ先	山口県立総合医療センター 形成外科 宮内 律子 電話：0835-22-4411(代)